科目名	ビジネス情報学		科目コード	SC439	
英文名	Information Systems in Business		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	大屋 伸彦	教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日/1時限	授業形態	講義
学位授与方針との対応	☒	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	本講義は変化の激しい情報化社会に対応するために必要な情報リテラシーとデータサイエンスの基礎を身につけることを目的とする。				
授業の狙い・到達目標	ビッグデータとは何かを理解し、ビジネスにおけるデータ活用の意義を説明できるようになること。 AI・データサイエンスがビジネスにどのように役立つのかを説明できるようになること。				
授業内容のレベル・関連科目	前提知識は必須ではないが、併せてベンチャービジネス論、経営管理論を履修することが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	復習を重視する。 不明な点や疑問点があれば次講義までに解決しておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。				
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。				
課題に対するフィードバック	課題に対しては最終講義にフィードバックを行う。				
成績評価方法	期末試験(40%)、授業内レポート・演習(40%)、授業への取り組み(20%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	「単位を取る」ことが目標ではなく、学んだことを社会に出たときに活かすことができるよう、主体性をもって取り組むことが求められる。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方)、社会で起きている変化 シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	社会で活用されているデータ 世の中にあるデータにはどんなものがあるのか考えておくこと なぜ情報が必要なのか理解しておくこと
3 回	学習内容 予習 復習	データとAIの活用領域①マーケティング マーケティングにおけるデータ活用の事例を調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	データとAIの活用領域②製造業等 社会で活用されているIoTについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	データ・AI利活用のための技術①予測と分類 データサイエンスにおける予測と分類の意味を調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
6 回	学習内容 予習 復習	データ・AI利活用のための技術②非構造化データ処理 構造化データと非構造化データの違いについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
7 回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の現場 DX(デジタルトランスフォーメーション)について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
8 回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の最新動向①機械翻訳 機械翻訳について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
9 回	学習内容 予習 復習	データ・AI活用の最新動向②機械学習 機械学習について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	演習①データを読む エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	演習②データを説明する エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	演習③データを扱う エクセル操作を確認しておくこと 演習での不明な点は次の演習までに解決しておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	データ・AIを扱う上での留意事項 個人情報保護、AI倫理について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	データを守る上での留意事項 情報セキュリティについて調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	全体のまとめと期末試験の説明 1回から14回までの授業内容を復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返って理解を深めておくこと

科目名	プログラミング基礎			科目コード	SC440	
英文名	Basic Programming			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・4時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	☒	3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	本講義では普及度や実用性の高いプログラミング言語を用いて、プログラミングの基本的な構文と動作に関する演習を行う。					
授業の狙い・到達目標	課題に対してプログラミングで可能な解決策を模索し、論理的思考力が向上する。 個人が低コストでアプリを開発できることを認識し、公開、奉仕、職業につながる可能性を探る。 プログラミングやアルゴリズムの基礎知識と技能を習得し、実際にプログラムの作成と実行ができる。					
授業内容のレベル・関連科目	プログラミングの基礎、C#言語の基礎／「情報科学概論」「情報資格演習」「情報システム論」					
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	WINGSプロジェクト 高江賢「基礎からしっかり学ぶC#の教科書 第3版 C#10対応 構文とサンプルコードでC#が学べる入門書 改訂新版」日経BP					
参考書・その他教材	プログラミング書籍全般、C#言語関連書籍					
課題に対するフィードバック	各段階毎に成果物を点検、フィードバックを行う。					
成績評価方法	成果物(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	本授業での指定教科書の値段は、本学内指定教科書の平均水準より高いと思われるため、履修にあたっては相応の覚悟をもって臨むこと。プログラミング技術に関心があり、その能力を向上させたい者は、各プログラミング言語の専門書や関連書を読むことを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org					

1 回	学習内容 予習 復習	プログラミング概論 シラバスを熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラミング概論に関する指定課題を解くこと。
2 回	学習内容 予習 復習	プログラムの作成と実行 プログラムの作成と実行の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの作成と実行に関する指定課題を解くこと。
3 回	学習内容 予習 復習	変数 変数の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 変数に関する指定課題を解くこと。
4 回	学習内容 予習 復習	演算と型、数値計算 演算と型、数値計算の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 演算と型、数値計算に関する指定課題を解くこと。
5 回	学習内容 予習 復習	プログラムの流れの分岐 プログラムの流れの分岐の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの流れの分岐に関する指定課題を解くこと。
6 回	学習内容 予習 復習	プログラムの流れの繰り返し プログラムの流れの繰り返しの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 プログラムの流れの繰り返しに関する指定課題を解くこと。
7 回	学習内容 予習 復習	配列 配列の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 配列に関する指定課題を解くこと。
8 回	学習内容 予習 復習	関数 関数の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 関数に関する指定課題を解くこと。
9 回	学習内容 予習 復習	基本型 基本型の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 基本型に関する指定課題を解くこと。
10 回	学習内容 予習 復習	ソートとサーチ ソートとサーチの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ソートとサーチに関する指定課題を解くこと。
11 回	学習内容 予習 復習	再帰 再帰の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 再帰に関する指定課題を解くこと。
12 回	学習内容 予習 復習	データ構造 データ構造の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 データ構造に関する指定課題を解くこと。
13 回	学習内容 予習 復習	木、グラフ 木、グラフの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 木、グラフに関する指定課題を解くこと。
14 回	学習内容 予習 復習	文字と文字列 文字と文字列の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 文字と文字列に関する指定課題を解くこと。
15 回	学習内容 予習 復習	ファイル処理 ファイル処理の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ファイル処理に関する指定課題を解くこと。

科目名	プログラミング応用			科目コード	SA424	
英文名	Advanced Programming			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日/1時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	HTML/JavaScriptを使って簡単なゲームを作成する。					
授業の狙い・到達目標	自身の手で作成することにより、プログラム言語をより身近に感じ、理解を深めることができる。簡単なゲームを作成することができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	HTML/CSSの知識が前提となるため、プログラミング基礎、WEBデザイン演習を履修することが望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	特に復習を重視する。PCの扱いに慣れておくこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	資料を配布する予定。					
参考書・その他教材	HTMLの解説書を読んでおくことを推奨する。					
課題に対するフィードバック	演習に対するフィードバックを講義内で行う。					
成績評価方法	授業内演習(80%)、授業への取組み(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。 演習の進捗によっては内容を変更する場合がある。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、PC操作の確認等) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	HTML,CSSの復習 WEBページ基本 HTML,CSSの各言語についての基本タグを調べておくこと。 簡単なWEBページを作れるようになること。
3 回	学習内容 予習 復習	レスポンシブデザインレイアウト/デベロッパーツールの説明 WEBページの構造を確認しておくこと。 授業で説明した内容を振り返っておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	レスポンシブデザインレイアウトのカスタマイズ WEBページの構造を確認しておくこと。 授業で説明した内容を振り返っておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
6 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
7 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。
8 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
9 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
10 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
11 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。
12 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
13 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
14 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
15 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。

科目名	情報資格演習		科目コード	SA425	
英文名	Practice for Information Qualification		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	日坂 彰	教員コード	137	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日・1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	ITパスポートとは社会人・学生が備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を証明する国家資格であり、同試験に合格できる水準の到達を目指す。				
授業の狙い・到達目標	ITパスポート試験に合格できる水準に到達できる。同時に、更に上位の情報処理技術者試験(基本情報技術者試験など)に合格できるように必要な基礎事項を習得できる。				
授業内容のレベル・関連科目	ITSS(ITスキル標準)のレベル1、国際情報ビジネスコース及びビジネス専攻の経営、会計、情報全分野の科目が関連する				
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	富士通エフ・オー・エム株式会社「ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集(よくわかるマスター)」FOM出版 ※最新版を入手すること				
参考書・その他教材	経営、会計、情報全分野の基本書全般				
課題に対するフィードバック	分野別スコアの記録によって、得意分野と苦手分野のフィードバックを行う。				
成績評価方法	問題演習(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	使用教科書は試験対策書である性格上、毎年異なる版が出版されるため、過年度の中古書は避けること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org				

1 回	学習内容 予習 復習	資格試験の概要、傾向と対策 — ITパスポート試験の概要、傾向と対策、学習方法ノウハウ 教科書の「試験の概要」を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ITパスポート試験を受ける計画(学習計画、受験時期等)を立てること。
2 回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系 (1) 企業と法務 教科書の第1章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
3 回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系 (2) 経営戦略 教科書の第2章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
4 回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系 (3) システム戦略 教科書の第3章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
5 回	学習内容 予習 復習	ストラテジ系総合演習 教科書の第1章から第3章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのストラテジ系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
6 回	学習内容 予習 復習	マネジメント系 (1) 開発技術 教科書の第4章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
7 回	学習内容 予習 復習	マネジメント系 (2) プロジェクトマネジメント 教科書の第5章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
8 回	学習内容 予習 復習	マネジメント系 (3) サービスマネジメント 教科書の第6章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
9 回	学習内容 予習 復習	マネジメント系総合演習 教科書の第4章から第6章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのマネジメント系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
10 回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系 (1) 基礎理論 教科書の第7章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
11 回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系 (2) コンピュータシステム 教科書の第8章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
12 回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系 (3) 技術要素 教科書の第9章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
13 回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系 (4) 表計算 教科書の第10章を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 教科書の該当章末「予想問題」を解いて、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
14 回	学習内容 予習 復習	テクノロジー系総合演習 教科書の第7章から第10章までの復習を行い、同分野での未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラムのテクノロジー系において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。
15 回	学習内容 予習 復習	全体総合演習 教科書の第1章から第10章までの復習を行い、未理解事項を残さないこと。 過去問題プログラム(全体)において、正答率が80%以上となるまで繰り返すこと。

科目名	WEBデザイン演習		科目コード	SA426	
英文名	Practice of Website Design		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	日坂 彰	教員コード	137	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・4時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	Webサイト(ホームページ)、電子商取引サイトおよびブログなどの基盤技術であるHTMLやCSSを習得し、それらの技術を用いてWebページを作成する演習である。				
授業の狙い・到達目標	HTMLを用いて基本的なWebページ(ホームページ)を作成できる。 基本的なWebデザインを、Webページ(ホームページ)に反映できる。 コンテンツの構成要素となる各種ファイル形式と特徴を理解できる。				
授業内容のレベル・関連科目	Webデザインの基礎/「情報科学概論」				
授業外学習(予習・復習)	予習は資料を読み、用語を辞典、事典で調べておくこと。 復習は学習内容を定着させ、未理解事項を残さないこと。 各回に特化した予習、復習は授業スケジュールを参照のこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	実教出版編修部「30時間でマスター インターネットⅢ HTMLでつくるWebページ」実教出版				
参考書・その他教材	授業内で適宜紹介する。				
課題に対するフィードバック	各段階毎に成果物を点検、フィードバックを行う。				
成績評価方法	成果物(設計書等)(70%)、授業への貢献度(30%)で総合的に評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを、本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	本授業は受講人数に上限を設け、受講制限を行う場合がある。本演習の各回は、それ以前の習得内容を前提としている。携帯電話の使用厳禁。遅刻厳禁。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	本学 Google Workspace for Education Gmail:anissaka@aikoku-u.org				

1 回	学習内容 予習 復習	インターネットとWebページ — インターネットとWebページのしくみ シラバスを熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 普段どれだけインターネットやWebページを利用しているかをまとめること。
2 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (1) — HTMLの基礎、ファイル形式、拡張子 HTMLの基礎等の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 自分が日常的に使うファイルのファイル形式について調査し、まとめること。
3 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (2) — 作成ソフトの利用方法、テキストエディタ テキストエディタの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 テキストエディタ(メモ帳)の基本的な使い方を習得すること。
4 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (3) — 基本的なHTMLタグ 基本的なHTMLタグの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 基本的なHTMLタグに関する指定の応用課題を解くこと。
5 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (4) — ハイパーリンク ハイパーリンクの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 ハイパーリンクに関する指定の応用課題を解くこと。
6 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (5) — イメージの表示、イメージファイル形式 イメージファイルの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 イメージの表示に関する指定の応用課題を解くこと。
7 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (6) — リスト リストの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 リストに関する指定の応用課題を解くこと。
8 回	学習内容 予習 復習	Webページ作成技術 (7) — テーブル(表) テーブルの指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 テーブルに関する指定の応用課題を解くこと。
9 回	学習内容 予習 復習	Webデザイン (1) — スタイルシート、CSSの基礎 CSSの基礎の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、どのようにCSSが使われているかを調査すること。
10 回	学習内容 予習 復習	Webデザイン (2) — 色の基礎、配色 色の基礎、配色の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、色の基礎、配色の観点から評価すること。
11 回	学習内容 予習 復習	Webデザイン (3) — デザインの基礎 デザインの基礎の指定資料を熟読し、理解を図り、不明点は質問としてまとめておくこと。 指定数以上のWebサイトを閲覧し、デザインの基礎の観点から評価すること。
12 回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習 (1) — 設計—サイトマップとページレイアウト どのようなWebサイトを作成したいかの基本構想を練ってくること。 サイトマップとページレイアウトを作成すること。
13 回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習 (2) — 制作 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 サイトマップとページレイアウトを作成すること。
14 回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習 (3) — 修正 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 フィードバックへの対応
15 回	学習内容 予習 復習	Webサイト設計演習 (4) — 評価 サイトマップとページレイアウトを作成すること。 フィードバックへの対応

科目名	データベース演習		科目コード	SA427	
英文名	Practice of Database Processing		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦	教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日/1時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
		5.学習の過程で発見した課題を探求する	☒	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	データベースの概要を理解する。 リレーショナルデータベースの構造を理解する。				
授業の狙い・到達目標	テーブル、リレーションシップ、クエリ、フォーム、レポートの理解と作成を通して、データベースソフトであるAccessを利用できるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	Excelの知識を前提としているため、表計算演習を履修していることが必須。				
授業外学習(予習・復習)	PCの操作に慣れておくこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	必要な資料は配布する予定。				
参考書・その他教材	Accessの入門書を読んでおくことを推奨する。				
課題に対するフィードバック	最終講義にフィードバックを行う。				
成績評価方法	総合演習(80%)、演習への取り組み(20%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	基本的なPC操作はできるものとしたうえで講義をすすめる。 演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

データベース演習

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、PC操作の確認 データベースとはどのようなものかを考えておくこと PCの操作を確認しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	データベースの作成と設計 PCの操作を確認しておくこと データベースオブジェクトについて理解しておくこと
3 回	学習内容 予習 復習	テーブルの作成 Accessの画面構成を理解しておくこと テーブルの概要を理解し問題なく作成できるようにしておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	リレーションシップの設定 前回作成したものを確認しておくこと リレーションシップの概要を理解しておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(1) 集計キー項目の追加① クエリでどんなことができるかを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
6 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(2) 集計クエリとグラフ化(円グラフ、棒グラフ) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
7 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(3) リレーションシップを使わないテーブル結合 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
8 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(4) 集計キー項目の追加②取引回数集計 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
9 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(4) 集計キー項目の追加②取引金額集計 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(5) 集計クエリとグラフ化(折れ線グラフ) 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	クエリの作成(6) 追加クエリ、更新クエリ、削除クエリ 前回作成したものを確認しておくこと 作成できなかったことを進めておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	総合演習(1) 前回作成したものを確認しておくこと 演習できなかったことを進めておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	総合演習(2) 前回作成したものを確認しておくこと 演習できなかったことを進めておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	総合演習(3) 前回作成したものを確認しておくこと 演習できなかったことを進めておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	演習のフィードバック 演習できなかったことを進めておくこと Access全般の操作をできるようにすること

科目名	画像処理演習			科目コード	SA428		
英文名	Practice of Graphic Processing			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)		
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163		単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	講義	
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する		☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	画像処理技術の仕組みを学ぶとともに、画像編集ソフト(PhotoShop)を使用して、画像修正の基本操作を学ぶ。						
授業の狙い・到達目標	本演習の到達目標を、以下の3点とする。 ①画像処理の仕組みについて学ぶ ②画像編集ソフト(PhotoShop)の基本操作を身につける ③WordやExcel、PowerPointにて編集画像の利用方法を身につける						
授業内容のレベル・関連科目	画像編集ソフトを初めて利用する者を対象としており、基礎的なレベルである。						
授業外学習(予習・復習)	予習は、事前に配布資料を読んでおき、内容を理解しておくこと。 復習は、授業内容を振り返り、課題を提出すること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	・I&D宮川千春、木俣カイ、『これから始めるPhotoShopの本』。技術評論社 ・まきのゆみ、『PhotoShopしっかり入門』。SBクリエイティブ						
課題に対するフィードバック	毎回課題を出題し、その内容を次回の講義で共有する。						
成績評価方法	①期末演習試験(50%)、②演習課題(40%)、③平常点(10%)により評価する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを行うこと。実際にPhotoShopを利用した振り返りができればなおよい。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールやChatでも受け付ける。 メールの場合は、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

授業スケジュール

画像処理演習

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 授業内容を振り返ること
2 回	学習内容 予習 復習	<画像処理基礎> コンピュータ内における画像処理の仕組みを説明する 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
3 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習①> 画像の取り込み 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
4 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習②> 画像の修正 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
5 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習③> 画像の補正 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
6 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習④> 画像の合成 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
7 回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～6回の内容を振り返る 第2～6回の内容を復習してくる 授業内容を振り返ること
8 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑤> レイヤー機能 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
9 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑥> ペイント機能 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
10 回	学習内容 予習 復習	<PhotoShop実技演習⑦> 文字の入力と編集 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
11 回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用①> Wordでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
12 回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用②> Excelでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
13 回	学習内容 予習 復習	<ソフトウェアでの画像利用③> Power Pointでの画像利用 配布資料を読んでおくこと 授業内容を振り返ること
14 回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第8～13回まで内容を振り返りと最終課題の説明 第8～13回の内容を復習しておくこと 本日の授業内容を振り返る
15 回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 最終課題の完成と提出 第7回、14回を中心に復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返り、最終課題を提出する。

科目名	コンピュータ会計演習			科目コード	SA429	
英文名	Practice of Computer Accounting			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日/1時限		授業形態	演習
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探求する	☒	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	それぞれの勘定科目を理解し、仕訳を入力できるようにする。 財務諸表や精算表に勘定科目ごとの入力ができるようにする。					
授業の狙い・到達目標	コンピュータを使って帳簿記入を行えるようになるために、演習を通じて勘定科目や仕訳について理解できるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	簿記を理解していることを前提に演習を行うため、簿記論および簿記演習を履修済みであることが必須。					
授業外学習(予習・復習)	PCの操作に慣れておくこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。					
参考書・その他教材	授業で必要となった場合に指示する。					
課題に対するフィードバック	演習については、授業の中で解説する。					
成績評価方法	課題演習(80%)、演習への取り組み(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、PC操作の確認、簿記の復習) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	エクセル帳簿での演習① 勘定科目にはどんなものがあるのか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
3 回	学習内容 予習 復習	エクセル帳簿での演習② 仕訳の方法を確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	演習(現金・小口現金・普通預金) 2回、3回で扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	演習(仕入れ・買掛金・仮払消費税) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
6 回	学習内容 予習 復習	演習(売掛金・仮受消費税) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
7 回	学習内容 予習 復習	演習(未払金・クレジット払い) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
8 回	学習内容 予習 復習	演習(前払金・前受金) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
9 回	学習内容 予習 復習	演習(当座預金) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	演習(約束手形) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	演習(貸付金・借入金) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	演習(未収金) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	演習(仮払金・仮受金・立替払・預り金) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	演習(減価償却費) 前回扱った仕訳や勘定科目について理解しているか確認しておくこと 授業内で行った演習について復習しておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	総合演習 授業で説明した勘定科目について理解しておくこと 演習を復習しておくこと

科目名	ビジネスモデル論		科目コード	SC441	
英文名	Business Model Studies		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	吉元 菜々子	教員コード	165	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	金曜日・2時限	授業形態	講義
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける	○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	グローバル化やIT化が進んだ現代社会では、商品のイノベーションのみではビジネスにおいて利益を生み出すのは難しく、独創的なビジネスモデルの構築が不可欠だとされている。本授業では、ビジネスモデルとは何かを理解することからはじめ、様々な企業のビジネスモデルを具体的に検討し、その特徴を理解していく。				
授業の狙い・到達目標	ビジネスモデルについての基礎的な知識を習得し、具体的なビジネスモデルからその特徴を分析することを通じて、新たなビジネスモデルを構築するための基礎を養うことができる。また企業の活動を知ることによって、卒業後のキャリアや社会活動について主体的に考えることができるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス全般についての入門的な講義である。				
授業外学習(予習・復習)	事前に授業計画を確認し、各回のトピックについて自分なりに調べるなどの予習をすること。また復習として、授業後は配布資料や自分で作成したノートをもとに授業内容を振り返ること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教科書は使用しない。必要に応じて授業内で資料を配布する。				
参考書・その他教材	平野敦士カール監修(2019)『知識ゼロでも今すぐ使える！ビジネスモデル見るだけノート』宝島社 オスターワルダー、A./Y. ピニユール(2012)『ビジネスモデル・ジェネレーション——ビジネスモデル設計書』小山龍介訳、翔泳社				
課題に対するフィードバック	授業内で前回の授業のリアクションペーパーを適宜紹介し、質問への回答やフィードバックを行う。				
成績評価方法	平常点(40%)、レポート(60%)により評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	日ごろから授業に関連するニュースを意識し、調べる習慣をつけること。 授業計画は、受講生の理解度や要望に応じて若干の変更を加える場合がある。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし。				
担当教員への連絡方法	質問等はメール(yoshimoto@aikoku-u.org)にて受け付ける。				

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション——ビジネスモデルとは何か シラバスを読み、授業の概要と目的について理解をしておくこと。 授業の目的を理解し、今後の授業計画について確認すること。
2 回	学習内容 予習 復習	人間社会と経済——ビジネスと非ビジネスの間 店で商品を買うことと、人から贈り物をもらうことの違いについて考え、まとめておくこと 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
3 回	学習内容 予習 復習	会社組織におけるシステムとネットワーク 任意で選んだ企業の組織図を調べ、まとめておくこと 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
4 回	学習内容 予習 復習	仕事と「遊び」 自分の一日の行動を「仕事」と「遊び」のどちらかに分けて、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
5 回	学習内容 予習 復習	ビジネスモデルの歴史 ビジネスモデルという言葉の意味を調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
6 回	学習内容 予習 復習	ビジネスの基本モデル——基礎的な概念 商品が販売されるまでのプロセスについて考え、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
7 回	学習内容 予習 復習	ビジネスモデルの構築法 自分が日ごろからよく購入する商品の魅力について考え、まとめておく。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
8 回	学習内容 予習 復習	モノとビジネスモデル 自分が普段、物を買うときに重視するポイントについて考え、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
9 回	学習内容 予習 復習	人とビジネスモデル 20代女性を顧客ターゲットとした商品にはどのようなものがあるかについて考えておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
10 回	学習内容 予習 復習	インターネットとビジネスモデル 「フリーミアム」という言葉の意味について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
11 回	学習内容 予習 復習	金の流れとビジネスモデル 「ロングテール」という言葉の意味について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
12 回	学習内容 予習 復習	市場と流通のビジネスモデル 「ドミナント戦略」という言葉の意味について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
13 回	学習内容 予習 復習	社会貢献とビジネスモデル 企業が行う社会貢献にはどのようなものがあるか調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
14 回	学習内容 予習 復習	発展途上国とビジネスモデル 発展途上国に進出した日本企業について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
15 回	学習内容 予習 復習	まとめ——働くということ これまでの授業で配布したレジュメを振り返り、不明点や疑問点を明確にしておくこと。 これまでの授業を振り返り、受講内容について理解を深めること。

科目名	ビジネスモデル演習		科目コード	SA430	
英文名	Practice of Business Models		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	吉元 菜々子	教員コード	165	単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	金曜日・2時限	授業形態	演習
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☒	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	本授業では具体的な企業を事例にマーケティングの基礎的な知識を習得する。さらに、自らが企画案の作成を行うことを通じて、マーケティングについての理解を深める。演習科目であるので、後半に発表等がある。				
授業の狙い・到達目標	消費者行動の基本や商品の企画、販売などマーケティングについての基礎を身につけ、ビジネスについての理解を深めることができる。				
授業内容のレベル・関連科目	マーケティングについての入門的な講義である。「ビジネスモデル論」の履修を推奨する。また、本講義履修後の「マーケティング論」の履修もお勧めしたい。				
授業外学習(予習・復習)	事前に授業計画を確認し、各回のトピックについて自分なりに調べるなどの予習をすること。また復習として、授業後は配布資料や自分で作成したノートをもとに授業内容を振り返ること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教科書は使用しない。必要に応じて授業内で資料を配布する。				
参考書・その他教材	平野敦士カール監修(2018)『大学4年間のマーケティング見るだけノート』宝島社 テット、ジリアン(2022)『ANTHRO VISION(アンソロ・ビジョン)——人類学的思考で見るビジネスと世界』日本経済新聞出版				
課題に対するフィードバック	授業内で前回の授業のリアクションペーパーを適宜紹介し、質問への回答やフィードバックを行う。				
成績評価方法	平常点(40%)、提出課題(60%)により評価する。				
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	日ごろから授業に関連するニュースを意識し、調べる習慣をつけること。 授業計画は、受講生の理解度や要望に応じて若干の変更を加える場合がある。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし。				
担当教員への連絡方法	質問等はメール(yoshimoto@aikoku-u.org)にて受け付ける。				

授業スケジュール

ビジネスモデル演習

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション——マーケティングとは何か シラバスを読み、授業の概要と目的について理解しておくこと。 授業の目的を理解し、今後の授業計画について確認すること。
2 回	学習内容 予習 復習	ニーズとウォンツ 過去一週間で何をどこで買ったのかについて記録しておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
3 回	学習内容 予習 復習	誰に何を提供したいか——具体から考える 身近の誰かの生活を観察し、その行動について記録しておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
4 回	学習内容 予習 復習	STPでターゲットを絞る 商品やサービスを提供したい人物の属性(年代、性別など)について考え、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
5 回	学習内容 予習 復習	マーケティング・ミックス——4Pと4C 自分で決めた商品が通常どこでどれくらいの価格で売られているかについて調べておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
6 回	学習内容 予習 復習	SWOT分析 自分で決めた商品の良いところと悪いところについて考え、まとめておくこと 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
7 回	学習内容 予習 復習	競争戦略① ポジションについて考える 自分で決めた商品と競合する商品について考え、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
8 回	学習内容 予習 復習	競争戦略② 製品と社会の関係について考える 自分で決めた商品の歴史について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
9 回	学習内容 予習 復習	プロモーション 好きな広告と嫌いな広告について、そう思った理由とともに考え、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
10 回	学習内容 予習 復習	顧客満足と意思決定 自分が商品を購入して満足した経験について振り返り、その理由について考えておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
11 回	学習内容 予習 復習	グローバル・マーケットで考える 自分で選んだ商品の日本以外での流通状況について調べ、まとめておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
12 回	学習内容 予習 復習	企画案についてのディスカッション 企画案についておおまかにまとめ、ディスカッションの準備しておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
13 回	学習内容 予習 復習	企画案についての最終発表 企画案の発表準備しておくこと。 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
14 回	学習内容 予習 復習	ビジネスと小商い 「小商い」という言葉の意味について調べ、まとめておくこと 授業内容を振り返り、学習した内容をまとめて理解を深めること。
15 回	学習内容 予習 復習	まとめ——マーケティング的思考 これまでの授業で配布したレジュメを振り返り、不明点や疑問点を明確にしておくこと。 授業内容全般を振り返り、受講内容についての理解を深めること。

科目名	プログラミング応用			科目コード	SA424	
英文名	Advanced Programming			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日/1時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する		☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	HTML/JavaScriptを使って簡単なゲームを作成する。					
授業の狙い・到達目標	自身の手で作成することにより、プログラム言語をより身近に感じ、理解を深めることができる。簡単なゲームを作成することができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	HTML/CSSの知識が前提となるため、プログラミング基礎、WEBデザイン演習を履修することが望ましい。					
授業外学習(予習・復習)	特に復習を重視する。PCの扱いに慣れておくこと。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	資料を配布する予定。					
参考書・その他教材	HTMLの解説書を読んでおくことを推奨する。					
課題に対するフィードバック	演習に対するフィードバックを講義内で行う。					
成績評価方法	授業内演習(80%)、授業への取組み(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	演習を行うため、Googleアカウントの操作は必須。 演習の進捗によっては内容を変更する場合がある。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方、PC操作の確認等) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	HTML,CSSの復習 WEBページ基本 HTML,CSSの各言語についての基本タグを調べておくこと。 簡単なWEBページを作れるようになること。
3 回	学習内容 予習 復習	レスポンシブデザインレイアウト/デベロッパーツールの説明 WEBページの構造を確認しておくこと。 授業で説明した内容を振り返っておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	レスポンシブデザインレイアウトのカスタマイズ WEBページの構造を確認しておくこと。 授業で説明した内容を振り返っておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
6 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
7 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム1(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。
8 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
9 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
10 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
11 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム2(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。
12 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) HTML, Javascriptを記述できるようにしておくこと。 課題のプログラム作成を進めておく。
13 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
14 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(作成) 課題のプログラム作成を進めておく。 課題のプログラム作成を進めておく。
15 回	学習内容 予習 復習	JavaScript ゲーム3(カスタマイズ) 課題のプログラム作成を進めておく。 プログラムを変更することでオブジェクトの動きがどのように変化するかを確認すること。

科目名	簿記論			科目コード	SC442	
英文名	Bookkeeping			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	呉 鳶	教員コード	157		単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・2時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う		☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する		☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	簿記を学習することは、企業の経済活動を理解し、これを整理、計算して有用な情報としてまとめることができる。本講義では、会計学概論よりも、演習問題を数多く解く講義になる。「知識として知っている」段階から、実践的に「使いこなせる」段階へ引き上げるための講義となる。					
授業の狙い・到達目標	会計学概論が簿記の入門編であるのに対し、本講義および簿記演習は実践編である。日本商工会議所簿記検定3級に合格できるようなスキルアップだけでなく、簿記上の取引に関する本質的な理解ができるようになり、3級以上の自主学習に必要とされる理解力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	日本商工会議所簿記検定3級以上の合格を実践的なターゲットとする。 関連科目:会計学概論、簿記演習					
授業外学習(予習・復習)	予習:授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習:教科書、演習問題を復習し、基礎知識を身につけるように振り返る。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 教本 改訂版』実教出版(2019) 蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 問題演習』実教出版(2019)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料、電卓					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、演習問題理解度(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	演習問題の理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基き、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	学習効果を高めるために、簿記演習とあわせて履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、簿記の学習にあたり、取引の本質 シラバスを事前に確認して、教科書の序章を予習する。 講義内容を復習し、演習問題を完成する。
2 回	学習内容 予習 復習	簿記の基礎、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
3 回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
4 回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
5 回	学習内容 予習 復習	損益法、損益計算書等式、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
6 回	学習内容 予習 復習	企業の取引と勘定、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
7 回	学習内容 予習 復習	仕訳帳の記入法と総勘定元帳への転記(1) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
8 回	学習内容 予習 復習	仕訳帳の記入法と総勘定元帳への転記(2) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
9 回	学習内容 予習 復習	試算表(合計試算表、残高試算表、合計残高試算表)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
10 回	学習内容 予習 復習	期中取引の仕訳(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11 回	学習内容 予習 復習	期中取引の仕訳(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
12 回	学習内容 予習 復習	補助簿の記帳(現金出納帳など)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13 回	学習内容 予習 復習	演習問題形式による講義の復習と解説 第2～12回の講義内容、演習問題を復習する。 第2～12回の講義内容、演習問題を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
14 回	学習内容 予習 復習	貸借対照表と損益計算書の作成、演習問題と解説 第3～5回の講義内容を復習し、配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、第3～5回の講義内容を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
15 回	学習内容 予習 復習	総括(簿記一巡の要点をまとめる) 第1～14回の講義内容、演習問題を復習する。 第1～14回の講義内容、演習問題を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。

科目名	簿記演習			科目コード	SA431	
英文名	Practical Training of Bookkeeping			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 鳶	教員コード	157	単位数	2単位	
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	会計学概論よりも、演習問題を数多く解く講義になる。「知識として知っている」段階から、実践的に「使いこなせる」段階へ引き上げるための演習となる。					
授業の狙い・到達目標	会計学概論が簿記の入門編であるのに対し、本講義と簿記論は実践編である。簿記論より、本講義は応用力と実践性をさらに重視している。本講義を通して、日本商工会議所簿記検定3級に合格できるようなスキルアップだけでなく、簿記上の取引に関する本質的な理解を深めるようになり、3級以上の自主学習に必要なとされる考える力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	実践的な演習を中心とする。 関連科目:会計学概論、簿記論					
授業外学習(予習・復習)	予習・復習・講義を繰り返し、簿記の基礎知識を身につける。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間	
使用教科書	蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 教本 改訂版』実教出版(2019) 蛭川幹夫著『日商簿記ゼミ3級 問題演習』実教出版(2019)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料、電卓					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	演習問題の理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基き、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	簿記論を履修してから本講義を履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、基礎力テストと解説 シラバスを事前に確認して、教科書(教本)の第2章を復習する。 配布資料と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
2 回	学習内容 予習 復習	簿記上の取引・勘定・仕訳、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
3 回	学習内容 予習 復習	転記、合計・残高、勘定の締め切り、各種の帳簿、試算表の作成、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
4 回	学習内容 予習 復習	商品売買(1)、演習問題と解説□ 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
5 回	学習内容 予習 復習	商品売買(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
6 回	学習内容 予習 復習	現金の受払い、現金過不足の処理、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
7 回	学習内容 予習 復習	当座預金、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
8 回	学習内容 予習 復習	小口現金、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
9 回	学習内容 予習 復習	第1～8回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 第1～8回の講義内容演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
10 回	学習内容 予習 復習	手形(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11 回	学習内容 予習 復習	手形(2)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
12 回	学習内容 予習 復習	その他の期中取引(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13 回	学習内容 予習 復習	その他の期中取引(2)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。
14 回	学習内容 予習 復習	試算表の作成(1)、演習問題と解説 配布資料と教科書の指定ページを予習する。 第1～14回の講義内容、授業中の演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15 回	学習内容 予習 復習	試算表の作成(2)、演習問題と解説、総括 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第1～15回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題(検定問題)を完成する。

科目名	財務管理論			科目コード	SC443	
英文名	Financial Management			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 鳶		教員コード	157	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	月曜日・3時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う		☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する		☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	本講義では財務諸表の見方と分析方法を講義する。企業の財務的意思決定を理解するために、事業活動への投資、資金調達、利益の配分等に関する基礎知識と分析のスキルを習得する。					
授業の狙い・到達目標	財務管理の基礎知識を習得することが狙いである。具体的には、財務諸表に関する各指標の意義と計算の仕組みを学び、企業の経営分析と管理会計の基本に対する的確に理解する能力を持てるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	本講義では、会計学概論の関連知識をベースとしながら、財務諸表の見方と分析方法をより具体的に解説する。 関連科目:会計学概論、簿記論、簿記演習、原価計算論					
授業外学習(予習・復習)	予習:授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習:教科書などを確認しながら、基礎知識を身につけるように振り返る。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	平野秀輔著『財務管理の基礎知識 第4版』白桃書房(2023)					
参考書・その他教材	担当教員が作成する配布資料					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	課題への理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	主体的に学習に取り組むこと。学習効果を高めるため、原価計算論など、他の会計学関連科目と合わせて履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、学習の進め方、達成目標など)、財務管理とは シラバスを事前に確認して、教科書の序章を予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の序章を復習する。
2 回	学習内容 予習 復習	財務諸表の考え方 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
3 回	学習内容 予習 復習	経営分析の基礎 配布資料、教科書の指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
4 回	学習内容 予習 復習	収益性の分析、演習問題と解説(履修生による解説を含む) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
5 回	学習内容 予習 復習	付加価値の分析、演習問題と解説 配布資料、教科書指定ページを予習する。 講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
6 回	学習内容 予習 復習	財務安定性の分析、演習問題と解説(履修生による解説を含む) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
7 回	学習内容 予習 復習	第2～6回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第2～6回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第2～7回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
8 回	学習内容 予習 復習	損益分岐点の分析 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
9 回	学習内容 予習 復習	キャッシュ・フローの分析(1) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
10 回	学習内容 予習 復習	キャッシュ・フローの分析(2) 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
11 回	学習内容 予習 復習	会計管理の基礎概念 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習する。
12 回	学習内容 予習 復習	経営計画と予算 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
13 回	学習内容 予習 復習	意思決定会計 配布資料、教科書指定ページを予習する。 配布資料、授業中の解説(板書)と教科書の指定ページを復習し、演習問題を完成する。
14 回	学習内容 予習 復習	第8～13回講義の復習、演習問題と解説、企業価値の算定方法 第8～13回の講義内容、演習問題と解説を復習し、配布資料を予習する。 第8～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15 回	学習内容 予習 復習	総括:第2～14回講義の復習、演習問題の解説(履修生による解説、講評を含む) 第2～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第2～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。

科目名	原価計算論			科目コード	SA432	
英文名	Cost Accounting			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	呉 鳶	教員コード	157		単位数	2単位
開講期間	後期	曜日・時限	月曜日・3時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う		☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する		☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	原価計算は、現代の経済社会を適切に運営するために不可欠なシステムである。本講義では、原価計算モデルの基本的特徴、原価計算制度の基本構造等の専門知識と応用力を習得することができる。					
授業の狙い・到達目標	原価計算制度の意義と基本構造を理解し、業界別の原価計算の基本的特徴に基づいた各種試算ができるようになる。					
授業内容のレベル・関連科目	会計学概論、財務管理論と比べて、本講義では、原価の計算に関する専門知識に特化した内容を中心とする。 関連科目:会計学概論、財務管理論					
授業外学習(予習・復習)	予習:授業の計画を事前に確認して、積極的に予習に取り組む。 復習:教科書、配布資料などを確認しながら、基礎知識を身につけるように振り返る。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	担当教員が下記の参考書に基づいて配布資料を作成して配布する。					
参考書・その他教材	廣本敏郎・挽文子著『原価計算論』(第3版)中央経済社(2020)					
課題に対するフィードバック	提出された課題を確認してから、翌週の授業時に返却して解答・解説を行う。					
成績評価方法	期末試験(70%)、課題提出(20%)、平常点(10%)					
成績評価基準	課題への理解度、期末試験の結果などを踏まえて、本学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基き、到達度を総合的に評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	財務管理論の知識がないと、履修は厳しい。学習効果を高めるため、前期で財務管理論を履修しておくことを強く求める。他の会計学関連科目とあわせて履修することを推奨する。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)でも対応可。件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。					

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の概要、達成目標など)、原価計算の意義 シラバスを事前に確認する。 配布資料を復習する。
2 回	学習内容 予習 復習	原価計算モデルの基本的特徴 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習する。
3 回	学習内容 予習 復習	製造業の原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
4 回	学習内容 予習 復習	サービス業の原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
5 回	学習内容 予習 復習	現場経営と原価計算、事例分析 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、指定の事例を調べて次回の授業で発表する。
6 回	学習内容 予習 復習	原価計算制度の意義と基本構造 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習する。
7 回	学習内容 予習 復習	取得原価の計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
8 回	学習内容 予習 復習	費目別計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
9 回	学習内容 予習 復習	部門別計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料と授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
10 回	学習内容 予習 復習	第1～9回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第1～9回の講義内容を復習する。 第1～9回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
11 回	学習内容 予習 復習	標準原価計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
12 回	学習内容 予習 復習	直接原価計算、演習問題と解説 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
13 回	学習内容 予習 復習	利益計画とCVP分析 配布資料を予習する。 配布資料授業中の解説(板書)を復習し、演習問題を完成する。
14 回	学習内容 予習 復習	第10～13回講義の復習、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第10～13回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第10～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。
15 回	学習内容 予習 復習	総括(原価計算に対する総合的な理解)、演習問題と解説(履修生による解説、講評を含む) 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習する。 第1～14回の講義内容、演習問題と解説を復習し、追加の演習問題を完成する。

科目名	マーケティング論			科目コード	SC444	
英文名	Marketing Theory			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(必修)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163		単位数 2単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・2時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける		☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探究する			6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	マーケティングに関する基礎的な知識を学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	マーケティングの考え方を、マーケティングの基本的な考え方4P(Product、Place、Promotion、Price)の内容に即して学び、また、4Pの組み合わせであるマーケティングミックスについて理解することでマーケティングの基礎的な知識を習得することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	マーケティング論の入門から基礎までを学ぶ。経営学概論の知識と合わせることにより、企業活動をより深く、具体的に知ることができる。					
授業外学習(予習・復習)	予習は、事前に配布資料を読んでおき、内容を理解しておくこと。 復習は、授業内容を振り返り、課題を提出すること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。					
参考書・その他教材	野口智雄、『ビジュアル マーケティングの基本』、日経文庫。					
課題に対するフィードバック	毎回課題を出題し、その内容を次回の講義で共有する。					
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールやChatでも受け付ける。 メールの場合は、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2 回	学習内容 予習 復習	<マーケティングとはなにか> 4P、4C、マーケティングコンセプトなど、マーケティングの考え方に触れる 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
3 回	学習内容 予習 復習	<市場の捉え方> セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングなど市場のつかみ方を概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
4 回	学習内容 予習 復習	<市場での競争とマーケティング> SWOT分析、ポートフォリオ分析、競争戦略などを概説する 事前資料を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
5 回	学習内容 予習 復習	<製品管理①> 製品の考え方、開発プロセス、ライフサイクルなどの製品政策を概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
6 回	学習内容 予習 復習	<製品管理②> ブランドエクイティ、ブランド戦略などマーケティングにとってのブランドについて考える 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
7 回	学習内容 予習 復習	<コミュニケーション方法> 顧客へのコミュニケーションの実施方法を手段、戦略などを通して考える 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
8 回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習してくる 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する。
9 回	学習内容 予習 復習	<チャネルの構築方法①> チャネルの構築、チャネル政策の類型などについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
10 回	学習内容 予習 復習	<チャネルの構築方法②> 様々なチャネルについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
11 回	学習内容 予習 復習	<価格設定方法①> 価格設定の目的と方法について概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
12 回	学習内容 予習 復習	<価格設定方法②> 心理的価格設定や割引などについて概説する 教科書を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
13 回	学習内容 予習 復習	<非製造業のマーケティング> サービスマーケティングなどについて概説する 配布資料を読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
14 回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第9～13回の内容を振り返る 第9～13回の内容を教科書、レジюмеで見直しておく 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15 回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 本講義のまとめと復習を行う 第8回、14回を中心に復習しておく 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する

科目名	経営組織論		科目コード	SC445	
英文名	Business Organization		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	中野 慶昭	教員コード	163	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・2時限	授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☐	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☒	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
		5.学習の過程で発見した課題を探究する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	経営組織の構成や組織内での個人の役割、望ましい組織の在り方などについて学ぶ。また、経営組織についての基本的知識を習得する。				
授業の狙い・到達目標	経営組織を学習しながらも、その中で働く個人からの視点も同時に理解できる。組織のなかの個人の欲求やモチベーション、モチベーションを喚起させる仕組み、集団の機能と組織、組織におけるリーダーシップなどについて理解できる。				
授業内容のレベル・関連科目	経営学概論を事前に受講していることが望ましい。 経営学概論で学習した基礎的な組織論をより深く学ぶ。				
授業外学習(予習・復習)	予習は、事前に配布資料を読んでおき、内容を理解しておくこと。 復習は、授業内容を振り返り、課題を提出すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。				
参考書・その他教材	<ul style="list-style-type: none"> ・金井壽宏.『経営組織』. 日経文庫. ・村山昇.『キャリア・ウェルネス「成功者を目指す」から「健やかに働き続ける」への転換』. 日本能率協会マネジメントセンター 				
課題に対するフィードバック	毎回課題を出題し、その内容を次回の講義で共有する。				
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	質問はメールやChatでも受け付ける。 メールの場合は、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 講義の概要と進め方を説明する シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2 回	学習内容 予習 復習	<組織とは何か> いろいろな組織の捉え方について概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
3 回	学習内容 予習 復習	<組織の中の個人①> 組織観と人間観、マズローの欲求5段階説などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
4 回	学習内容 予習 復習	<組織の中の個人②> モチベーションとそれを喚起する仕組みについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
5 回	学習内容 予習 復習	<個人と組織> 個人と組織の関わり合い、組織の中での個人のキャリアなどについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
6 回	学習内容 予習 復習	<集団とは何か> 集団の定義、集団のダークサイドなどについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
7 回	学習内容 予習 復習	<リーダーシップ> 伝統的リーダーシップ論、企業における管理職の役割などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
8 回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習してくる 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する。
9 回	学習内容 予習 復習	<組織構造> 官僚制組織論について概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
10 回	学習内容 予習 復習	<経営組織の形態と設計①> ラインとスタッフ、職能部門制組織、事業部制組織などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
11 回	学習内容 予習 復習	<経営組織の形態と設計②> 組織設計の原理、組織構造の次元などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
12 回	学習内容 予習 復習	<経営組織の動態化、組織変革> 個人、集団、組織レベルでの変革や阻害要因などについて概説する 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
13 回	学習内容 予習 復習	<組織の方向付けと個人> 組織文化の捉え方、働く意味を与える組織などについて概説する。 教科書を読んでくること 本日の授業内容を振り返る
14 回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第9～13回の内容を振り返る。 第9～13回の内容を教科書や 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15 回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 本講義のまとめと復習を行う。 第8回、14回を中心に復習しておくこと 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する

科目名	経営管理論		科目コード	SC446	
英文名	Business Management		科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	大屋 伸彦	教員コード	161	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日/1時限	授業形態	講義
学位授与方針との対応	☒	1.大学生としての幅広い教養を身につける		2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	☐	3.論理的・批判的なものの見方を養う		4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	☐	5.学習の過程で発見した課題を探求する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	人々に影響を与える組織活動と組織を管理運営する手法について正しい方法を学ぶ。企業における様々なマネジメントについて学ぶ。				
授業の狙い・到達目標	経営管理論の基本的な用語や内容を理解し、企業が行う経営管理手法を把握することで、様々な企業形態において、どのような社会問題が存在しているのかを考えられるようになる。				
授業内容のレベル・関連科目	前提知識は必須ではないが、併せてベンチャービジネス論を履修することが望ましい。				
授業外学習(予習・復習)	予習・復習については教員からの指示に従い行うこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。				
参考書・その他教材	塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男「経営管理」有斐閣アルマ				
課題に対するフィードバック	特になし				
成績評価方法	期末試験(80%)、講義への取り組み(20%)				
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。				
履修上の注意事項や学習上の助言	講義のはじめに前回講義の復習をする。				
科目に関連した教員の実務経験	特になし				
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィスアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。				

授業スケジュール

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方など)、経営管理の現状と課題 シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2 回	学習内容 予習 復習	経営管理の変遷 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
3 回	学習内容 予習 復習	経営管理の発展 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
4 回	学習内容 予習 復習	組織のデザイン 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
5 回	学習内容 予習 復習	組織構造のマネジメント① 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
6 回	学習内容 予習 復習	組織構造のマネジメント② 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
7 回	学習内容 予習 復習	モチベーションと組織活性化① 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
8 回	学習内容 予習 復習	モチベーションと組織活性化② 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
9 回	学習内容 予習 復習	経営のリーダーシップ 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
10 回	学習内容 予習 復習	前半のまとめ 第1回から第9回までの内容を振り返っておく 配布した資料を読み、理解しておくこと
11 回	学習内容 予習 復習	企業文化の創造と変革 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
12 回	学習内容 予習 復習	日本の経営管理 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
13 回	学習内容 予習 復習	グローバル戦略 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
14 回	学習内容 予習 復習	育てる経営の管理へ 前講義で指示した事柄について調べておくこと 配布した資料を読み、理解しておくこと
15 回	学習内容 予習 復習	後半のまとめと期末試験の説明 11回から14回までの内容を復習しておく 全15回の講義を振り返り経営管理について理解を深めておくこと

科目名	経営戦略論			科目コード	SC447	
英文名	Business Strategy			科目区分	【専門科目】 ビジネス専攻(選択)	
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・3時限		授業形態	講義
学位授与方針との対応	☐	1.大学生としての幅広い教養を身につける	☒	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う	☐	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
		5.学習の過程で発見した課題を探究する	☐	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	企業が競争的市場において生き残るための戦略を、経営戦略についての様々な概念や理論を理解し、企業が実際に取っている経営戦略を学ぶ。					
授業の狙い・到達目標	資源戦略、競争戦略、ドメイン戦略の概要を学び、「成長市場を探す」「自社の強みを生かす」「戦略を考える」など企業が実際に直面する場面ごとに、実現可能でよりよい戦略をどう描くのかについて学ぶことで、経営戦略の理論を習得することができる。					
授業内容のレベル・関連科目	経営学概論を事前に受講していることが望ましい。 経営学概論で学習した基礎的な戦略論をより深く学ぶ。					
授業外学習(予習・復習)	予習は、事前に配布資料を読んでおき、内容を理解しておくこと。 復習は、授業内容を振り返り、課題を提出すること。				授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間
使用教科書	教員が資料を配布する予定。					
参考書・その他教材	・榊原清則、『経営学入門』(上). 日経文庫. ・菅野寛、『全社戦略がわかる』. 日経文庫.					
課題に対するフィードバック	毎回課題を出題し、その内容を次回の講義で共有する。					
成績評価方法	最終レポート(50%)、小レポート(30%)、平常点(20%)					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	授業後の振り返りを必ず行い、小レポートについては自身の身近な出来事や話題を用いながら作成すること。					
科目に関連した教員の実務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	質問はメールやChatでも受け付ける。 メールの場合は、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。					

1 回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション> 授業の概要説明を行う シラバスを読んでおくこと 本日の授業内容を振り返る
2 回	学習内容 予習 復習	<経営戦略とは何か> 戦略と目標、目的、標的など戦略論の基礎を概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
3 回	学習内容 予習 復習	<資源戦略> 経験曲線と価格戦略、PPMなど資源配分の考え方について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
4 回	学習内容 予習 復習	<競争戦略①> マイケル・ポーターの5フォースモデルなど、競争戦略について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
5 回	学習内容 予習 復習	<競争戦略②> マイケル・ポーターの5フォースモデルを使って競争構造の分析を説明する 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
6 回	学習内容 予習 復習	<競争戦略③> 競争戦略としてのマーケティングについて説明する 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
7 回	学習内容 予習 復習	<ドメイン戦略> 事業領域や戦略領域など組織がやり取りする環境部分について概説する 教科書の該当箇所を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
8 回	学習内容 予習 復習	<前半のまとめ> 第2～7回の内容を振り返る 第2～7回の内容を復習してくる 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
9 回	学習内容 予習 復習	<環境分析> 戦略を立てるための環境分析について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
10 回	学習内容 予習 復習	<事業領域> ドメイン戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
11 回	学習内容 予習 復習	<事業戦略> 事業の戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
12 回	学習内容 予習 復習	<資源戦略> 全社における資源戦略について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
13 回	学習内容 予習 復習	<戦略運営> 運営における仕組みと修正について考える 配付資料を読んでくる 本日の授業内容を振り返る
14 回	学習内容 予習 復習	<後半のまとめ> 第9～13回の内容を振り返る 第9～13回の内容を教科書、レジュメで見直しておく 本日の授業内容を振り返り、小レポートを作成する
15 回	学習内容 予習 復習	<全体のまとめ> 本講義のまとめと復習を行う 第8回、14回を中心に復習しておく 全15回の授業内容を振り返り、最終レポートを作成する